

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
聖隷放課後クラブはなえみ森町		2025年 3月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	・共有スペースを使ったり、バーテーションやグループ分けて外出と室内に分けている。 必要な都度出し入れを行っている。	一つの大きな部屋のため、バーテーション等で空間分けをし、こどもたちが過ごしやすい環境を検討していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	4	・グループわけをしている。	・適切ではあるが、一人に職員が二人必要な児童もいるため、職員の人数の考え方を改善する必要がある。 ・マンツーマン対応が必要と思われる児童もアセスメントや対策を話し合い、複数人児童と共に対応出来ないか検討していく。 ・児童の人数で無く特性に合わせた配置をしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	・発達に応じて部屋のレイアウトを変えるなどしている。 ・写真掲示やおもちゃの配置などわかりやすく配置している。	・こどもが見てわかるような表示等検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	4	・限られた空間を机等の配置を変えるなどしている。 毎日、消毒清掃を行っている。	・活動には空間が狭いため、改善が必要だが、外出と部屋等活動内容の検討をする。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	3		・面談室を利用することで、個別の対応は出来る。部屋数は少ないため、工夫をしていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	3	・職員間での話し合いは、適宜行われている。 ・日々の雑談や申し送りで共有されている。	・通常サービス提供業務外の職員参加の割合は低いと感じている。参加できる日程等、調整できるところは調整をしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・アンケートを毎年行い、改善に努めている。	・皆様の協力のもと、今年度は全員からの回答を得られた。声かけは必要なため、締め切り前に回答していただけたか個別に聞いて対応する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・会議の中で、意見を言えるようにしている。	・会議での発言の場は増えているが、会議に参加できなかった職員の意見の収集ができていないので、情報共有を行っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1		・パート職員も参加できる研修をさがしていく。 ・継続して研修に参加し支援につなげていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1		・年度末となったが公表できた。職員間での共有もおこなっているが再度共有していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・送迎時家族に意見を聞いている。	・アセスメント力上がるよう、研修に参加していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		・計画を検討する会議で検討されているが出席できないと共通理解が不十分なため、参加できなかった職員への伝え方を考えていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・計画の目標は日々の記録に示され毎回わかるようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・地域の行事や季節などに合った活動を盛り込むよう工夫している。	・こどもたちが楽しめる活動を計画していく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・毎日打合せをおこない、活動内容等の確認をおこなっている。	・打合せの継続。配慮事項等も含め共通意識をもって対応する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	・特に知らせたほうがいい案件については送迎後に口頭やメモで残している。その日に全員で振り返るのは無理なので主に翌日に振り返りを行っている。	・学校日は翌日行っているが長期休み期間は毎回出来ない。共有した方がよいことはノートや日案を活用し共有できる体制をつくる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・毎日、利用児童を個別に日誌に記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・定期的に実施ができています。 ・担当スタッフが作成した計画を日々のミーティングで確認しあう等工夫している。 ・モニタリング対象の子供について会議で見直し、振り返りを行っている。 ・6ヶ月ごとに計画見直しを行っている。 ・定期的な研修を設けている。 カンファレンスの実施	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	・個別計画に基づいた支援を行うなかで成長の様子を見逃さないよう情報共有をしている。	・活動に対してこども自身が選べる日もあるが、だいたいは決められてしまっているので、もう少し選択できるよう、こどもの声を聞いた活動内容の設定をする。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・担当スタッフが参加している。	・今後も担当スタッフが出席できるよう調整する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	4	・担当スタッフによる体制は整備されていると考える。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	2	・日々のミーティングで確認している。	・保護者の了承を得たうえで、学校と情報共有をしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4	・担当スタッフが上記施設と連携をとり内容の情報共有をはかっている。	・訪問や聞き取りを可能な限りおこなっていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	6	・情報交換の機会を設けている。 ・担当スタッフによる提供がされている。	・卒業後の事業所や企業と連絡を取り合っていない。相手側からの希望はなくともこちらから積極的に行いたい。 ・相談支援事業所と連携し、会議を開催していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	6		・研修会参加への声かけをしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		・施設と連携はとっていないため今後検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4		・職員への周知は不足している。会議を通して共有していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・保護者が話しやすくなるよう声かけに工夫している。	・送迎時の会話等を積極的におこなっていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	・研修会は開催していないが常日頃から情報提供をしている。	・情報があつたときにはコドモンを活用し情報発信していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	・家族会等を利用し説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・適切に機会を設けている。	・更新のタイミングの他にもご家族やこどもの意向を聞けるよう関係づくりをしていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・適切に対応している。	・保護者との面談にて同意を得ることは継続していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・保護者が話しやすいようスタッフも声かけを工夫している。	・ご家族から信頼されるよう、関係づくりの継続。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	3	・年に数回、イベントも含め機会を設けている。	・参加したくなるような魅力的な家族会を企画したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1		・保護者がスタッフに話しやすい状況を作る。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・コドモンを活用し発信している。	・行事や体制についてはわかりにくいと思う。わかるような発信をしたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・情報管理は徹底されている。	・重要な事項なため、勉強会等も実施していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・保護者の意向に寄り添う配慮はしていると思われる。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2	・パンの販売など行っている。	・地域の行事に参加できるか検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		・訓練は実施できているものの、マニュアルの周知は不足している。コドモンを活用して配信等検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・事業所の規定に基づく訓練は行われている。その都度改善点を把握しあい、次回に活かせる訓練を行っていると思われる。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	3		・情報共有の確保を常におこなっていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	・保護者からの薬剤表の提供。 ・アレルギーの児童なし。	・少しの変化も見逃さないよう注意をはかり情報共有を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		・確実かつ完全な安全が保たれているか常日頃のチェックは必要であるため実施していく。 ・活動場所の安全管理、家具の固定や収納の仕方など地震対策について見直す。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	・情報交換を密に行っている。	・訓練の様子を伝えながら、家族とやり取りをしている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		・原因と対策、分析をしっかりとごこない、同じような事故が起きないよう職員で共有する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		・職場内での研修を継続してごこなう。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・身体拘束と思われる対応は、職員間で話し合うと共に家庭とも連絡をとり対応を丁寧に行っている。 ・利用児童に負担にならないよう工夫している。	